

科目名	日本語教授法Ⅱ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	(1) 中級レベルの教材および内容 (2) 中級レベルの文型の意味と指導法 (3) 中級レベルの教案の作り方 (4) 中級レベルの模擬授業
	到達目標	(1) 初級と中上級レベルの教材、指導法の違いがわかる。 (2) 中級文型の意味・作り方・指導法がわかる。 (3) 中級の教案を作ることができる。 (4) 中級のテキストを用いて適切に教えることができる。
授業計画	(1) 中上級レベルの日本語教育（講義） (2)                    // (3)                    // (4) 中級レベルの教案の作り方と指導法（講義） (5)                    // (6) 『みんなの日本語中級Ⅱ 本冊』13課（予定）の模擬授業（演習） (7)                    // (8)                    // (9)                    // (10)                   // (11) 『みんなの日本語中級Ⅱ 本冊』14課（予定）の模擬授業（演習） (12)                   // (13)                   // (14)                   // (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・担当する文型について複数の文型辞典で調べること。 ・教案を作成し、模擬授業の前に事前指導を受けること。
	事後学習	・模擬授業の問題点を把握し、次回の授業で改善すること。
使用教材・参考文献	【教】スリーエネットワーク『みんなの日本語中級Ⅱ 本冊』スリーエネットワーク 2012年 スリーエネットワーク『みんなの日本語中級Ⅱ 教え方の手引き』スリーエネットワーク 2013年 【参】庵功雄ほか『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエネットワーク 2001年 【参】グループ・ジャマシ『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版 1998年	
成績評価方法と基準	授業での積極性(10点)、演習(50点)、期末試験(40点)で評価します。上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考	・今年度「日本語教育実習」（後期科目）を受講する者は必ず受講すること。 ・4回以上欠席したものは不合格とする。（遅刻2回を欠席1回とする）	